慎二(同課学校教育係) 同課学校教育係主査 鈴 木

柴

課企業誘致係長兼商工係)、同課 教育係主査 社会教育係長 村上純一(同課主 民館長 柴田直美(同課課長)、同 社会教育係 社会教育係主査 〈社会教育担当〉)、同課主幹兼 〈社会体育担当〉)、同課社会 秋田 尾崎知己(同課主幹 同課課長兼追分公 畑田正宏(同 一篤(商工労働 .課

次長〈課長補佐〉) 長〈参事〉 小川誠一(同事務局 農業委員会事務局 同事務局次

務局主幹兼総務係長 佐々木勉 (同事務局総務係主査) 議会事務局 同事務局長兼議事 阿部博(同事務局長)、同事

同 課付 宮崎晃行 /3月31日付> (税務

し、

住民福祉の向上に努

課住民稅係兼納稅係)

係長)、稲垣英子 吉見誠二 (土木課長)、藤原和夫 育支援係主査保育士) (総務課参事兼管財係長)、荒木 (住民生活課参事兼環境保全 (健康福祉課子

## 田 勝治安平 町名誉町 民がご逝去され ま し

ました。 式は町葬により執り行われ 日にご逝去され、 民 元早来町長で、 0 柴田勝治氏が3月12 安平町名誉 15日の告別

早来番外地で出生。 から昭和53年までの約31 早来町 (安平村) 人は昭和2年安平村字 昭和22年 吏員 年

間 として奉職。この間、

議会事務局長、総

年の地方行政経 長を歴任し、長 務課長、経済部

発揮され行財政 験による能力を 題の解決に尽力

きく貢献されました。 期 地方行政の発展推進に大 昭和54年5月に町内住 流待を担って早来町長に<br/> 以来平成11年4月退任 民

当選。 まで、 方自 0 会生活基盤の整備を図り、 をまとめ、 は極めて多大であります。 導手腕により住民の意向 一治の 豊富な行政経験と知識 振興に尽くした功 産業生産基盤 住民の理解と協調 社

> を行い、 舗装化 豊かな郷土づくり」)を目指 や公共施設の計画的な整備 の向上に努められました。 全なまちづくり(「住みよ を図り、 厳しい財政事情 率の また、町民の生涯にわ 地域全体の生活基盤 将来に悔 低い町道の整備 いの のなかで、 な 11

たる学習や社会参 加への意欲を一 層高めるため、 家庭・学校・

ら芸術文化、 携を深めなが 地域社会の連

生きがいのある人生を 育スポーツなど、

さらに、

故

人の活動の場

増進、 成。 ころです。 から高く評価されていると 環境が向上したことは、 広い活用によって社会教育 践の機会を与えたことや幅 せ持つ「せいこドーム」が完 ルとアイスアリーナを合わ 築く教育体制の推進に努めら 多くの町民に生涯学習実 年 平成9年度には温水プー 生涯教育の充実に貢献 -間を通じて町民の健康

海道

いるところです。

力された功績は賞賛され

常に旺盛な活動力と実行力、 る団体の役員や委員を歴任。 海道の地方自治・道路整備

0

っていました。

葬儀

海道新幹線建設促進期成会監 事(~平成11年)、北海道土地 改良事業団体連合会委員(~

11年) 昭和58年 東胆振三町広域行政事 務組合長(~11年)

昭和61年 北海道胆振町村会(監事 理事、副会長、会長を歴任)。(~ 11年)

平成4年 北海道町村会理事·常任 理事(~11年)

平成 10 年 財団法人防衛施設周 辺整備協会評議員(~16年)

## 受章暦

昭和63・平成4・8年全国町村会 会長表彰(地方自治功労)、平成3 年北海道知事表彰(社会貢献賞·地 方自治功労)、平成11年 自治大臣 表彰(地方自治功労)、平成14年早 来町名誉町民の称号を授与、平成 15年 勳四等瑞宝章受章

## 歴

略 昭和2年 安平村字早来で出生 昭和17年 安平村立早来国民学校 高等科第2学年卒業

昭和18年 北海道林産物苫小牧支 所 検査員

昭和20年 横須賀海軍通信学校入 学、同年海軍上等水兵で現役満期 昭和20年 標津村森林組合 技師 昭和22年 安平村(旧早来町)奉職 昭和39年 議会事務局長

昭和42年 総務課長

昭和50年 経済部長 昭和53年 早来町役場退職

昭和54年 早来町長(~平成11年)

体 団 昭和54年 胆振農業振興協議会会 長(~58年)、北海道基地協議会 副会長(~平成11年)、全国基地 会理事(~11年)、北海道道 路整備促進協会(委員、監事、副 会長を歴任。(~平成11年)、北

